



2020年度
第13号

体育市民連帯 ニュースレター

コロナ19時代に

K防疫で世界的

位相を高めた韓国が

プロスポーツ再開を

通じてもう一度

先頭的模範になる

と期待します。

1
コロナ19が導いた
非対面ライフスタイル

プロスポーツの発展方向は？



2
国家代表選手協会

スポーツドクターズ
コロナ19リレー応援参加



대한민국 국가대표 선수 협회

3
国内プロリーグ開幕

類例のない世界的関心



4
国内スポーツ発展共に

体育指導者連盟、ISF、
韓国ボクシング振興院 MOU 締結



5
スポーツ界あれこれ



01 シリ (SIRI) 2020.5.4

【コロナ 19 が導いた非対面ライフスタイル... プロスポーツの発展方向は?】



コロナ 19 の余波でほとんどのオフライン業界は直撃弾を受けた。人々は旅行の計画の取り消しをはじめ、オンラインプラットフォームを通じてショッピングを始めたし、会社は在宅勤務に移行し学校は始業が延期された。各観光/旅行業界、大型マートや百貨店のようなオフラインショッピングモール、運送産業が大きな打撃を受けた。

この余波はスポーツ産業にも影響を与えた。感染が広がることを防止するために「社会的距離置き」などのキャンペーンが始まり、このような制限措置および社会的な認識によりプロスポーツ協会はリーグ中断/延期を宣言した。また、今年 7 月に予定されていた東京夏季オリンピックは来年に延期され、上半期スポーツ観戦市場が凍りついた。

一方、このような危機でも光を放つ産業がある。まさに非対面サービスを主軸とするオンラインプラットフォームだ。米国のアマゾンや電子商取引からクラウド、ビデオストリーミングに至るまで主力事業部門全てが成長を見せている。外出を控える人がオンラインで食料品を、オフライン始業/開講が延期していた学生が「Zoom」、「Webex」を活用してオンラインで授業を聞き、在宅勤務に移行された社員が自社のクラウドを介して仕事を処理するからである。

これまでオフライン購入を好んでいた中高年層もオンラインで食料品を買うことになったが、G マーケットの場合、50 代以上のオンライン食品、生活必需品の注文数は前年同期よりそれぞれ 73%、84%増加したという。また、彼らはオンライン購入の魅力を感じて、変化した消費文化について肯定的な反応を見せている。それだけでなく 4 次産業革命の関係者は、危機的状況を経験して変化についての拒否感が減っており、リモート診療科のような合意できていなかった革新技術の議論が急流に乗っていると述べた。

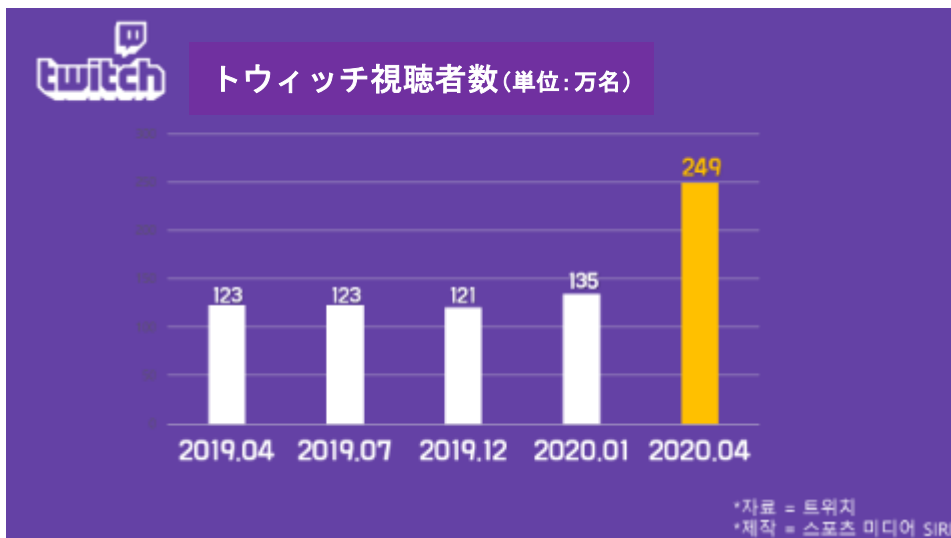


結局、コロナ 19 によって新しいライフスタイルは一時的なものではなく、アンタクト (非対面) で行われることを当然に思う時代が少し早く、少し強制的に来たのだ。これに対する反証だろうか、オフラインサービス企業が今回を契機にオンラインプラットフォームを新たに構築している。

スポーツ競技直感≠スポーツ観戦

先に述べたようにプロスポーツリーグが中断され、全世界の「スポーツ暗黒時代」と呼ばれる。ところが競技場で直接観覧すること（以下、直観覧）だけがスポーツ観戦だと言えるだろうか。

eスポーツ1位リーグである“2020 リーグ・オブ・レジェンド (LoL) チャンピオンズ 코리아 (以下 LCK)”は3月25日より、国内リーグの中では最も急速に無観客試合を再開した。デジタル機器を介してリモートプレイが可能でメディアに新和的なeスポーツの特性上、リアルタイム中継のみで観覧可能だ。去る1日、ゲーム業界によるとLCK スプリングプレーオフのモバイル視聴者107万人を記録した。これは昨年の77万人より33%程度増加した数値である。さらに、インターネット生中継はなんと1787万人が視聴したが、このうち韓国人は70万人で、残りは外国人だった。世界のスポーツリーグのほぼ唯一のスケジュールを消化しており、世界的な需要が集まっているのだ。



eスポーツリーグの事例を通じてスポーツ観戦は、単に直観覧だけではなく中継も含まれていることがわかる。実際KBOの場合、TV中継料が年平均400億ウォンを上回り、ニューメディア中継権料まで含めると500億ウォン台だ。観覧客のチケット売り上げでは得られない利益である。

プロスポーツ産業の発展方向は？

この間、韓国の二大プロスポーツであるプロ野球とプロサッカーがそれぞれ5月5日と5月8日、無観客開幕すると発表した。リアルタイム中継依存度が高まり、従来の中継だけでは躍動感や臨場感を伝えることができないだろう。単に編集技術の変化ではなく、新しい試みを通じた改善されたクオリティのコンテンツが必要な時だ。

現在KBOで議論されている監督インタビューと審判陣マイク着用が「新たな試み」の一部だと考え、この試みが定着したら選手のユニフォームにワイヤレスマイクを着用して試合を進めることも自然な現象ではないかと期待する。つまり、メディアに新和的なスポーツの形として少しずつ変化するものである。

コロナ19によって全てがアンタクト（非対面）で行われる時代が近づいた。オフラインサービス企業が生き残るためにオンラインプラットフォームを新しく構築したように、プロスポーツ産業もアンタクト時代が来ることを認知して備え、スタジアム外のファンをつかまなければならない。

*出典：<http://siri.or.kr/2020/05/코로나19가-이끈-비대면-라이프-스타일-프로스포츠의/>

02 薬業ドットコム 2020.5.7

【国家代表選手協会 16 人、スポーツドクターズコロナ 19 リレー応援参加】



韓国国家代表選手協会（以下、国大協・協会
長朴ノジュン）所属選手 16 人がスポーツドク
ターズリレー応援キャンペーンに尊いメッセ
ージを送ってきた。

国際保健医療団体であるスポーツドクターズ
（理事長ホ・ジュンヨン マイグループ/韓国マ
イパーム医薬品/マイ建設/マイデザイン/インタ
ーメディカルデイリー会長）は新型コロナウイルス
感染症（コロナ 19）と死闘を繰り広げて

いる国内および全世界の医療スタッフと市民を激励するために行っているリレー応援キャンペーンに 4 月 28 日、歴代国家代表を務めた選手たちが参加したと 7 日明らかにした。

参加選手は野球：朴ノジュン協会長を含め、レスリング：朴ジャンスン（バルセロナオリンピック金）、卓球：ユ・ナムギュ（ソウルオリンピック金）ヤン・デグン アン・グッキ、ボウリング：ビョン・ホジン（広島アジア大会金）キム・ミンス、射撃：イ・サンヒ（釜山アジア大会金）、ボクシング：ベク・ヒョンマン（ソウルオリンピック銀）、体操：ナ・ソンイム、水泳：バン・スンフン（広島アジア大会自由形金）、バスケットボール：ジョン・ウンスン、チョン・ウンスク（以上、北京・広島アジア大会金）、イ・ジョンエ、チョン・ソンミン（釜山・広州アジア大会銀）、陸上：ホ・ソンミン等である。彼らはサインと一緒に応援メッセージを伝えてきた。

国大協は望ましいスポーツ政策提案をはじめ、選手の権益の保護、福祉支援や雇用創出、スポーツ有望選手サポート、疎外階層のための社会貢献事業など国内スポーツ発展のための様々な活動を行っている。国大協とスポーツドクターズは去る 2015 年の業務協約を結んだ後、「スポーツは健康、ドクターズは治療」キャッチフレーズを掲げて着実に公益活動を継続してきた。

朴ノジュン国大協会長（安養大学総長）は協会を代表して「スポーツドクターズのリレー応援キャンペーンに参加することになって嬉しい。ウイルスによって苦しむ世界の市民と昼夜を問わず苦勞されている医療スタッフを応援する」とし「今後も選手たちと一緒に様々なボランティア活動や社会貢献事業の先頭に立つ」と約束した。

スポーツドクターズのホ・ジュンヨン理事長は「朴ノジュン協会長と一緒に多くの国家代表選手がキャンペーンに参加してくれて医療スタッフに多くの力になるだろう」とし「今後、国大協と様々な社会貢献活動を議論する予定だ」と伝えた。

一方、リレー応援キャンペーンと共にネイバーハッピービーン（訳注：ネット会社ネイバーが提供するサービスの一つで幸せな豆という意味。豆という仮想通貨を利用して社会貢献する）などに募金箱を開設したスポーツドクターズは現在、コロナ 19 拡散に困難を経験する全国に医療スタッフを派遣しており、国内の事態が落ち着いたら、「モバイルホスピタル」などを通じて全世界に医療スタッフを派遣する計画だ。

*出典：<http://www.yakup.com/news/?mode=view&cat=14&nid=243918>

03 東亜ドットコム 2020. 5. 6

【 ムン大統領“スポーツ、競技場で楽しむ日間もなく”... K 防疫成果 】



ムン・ジェイン大統領は6日、プロ野球開幕を知らせ、「スポーツの開幕が防疫と調和して定着できなければならない」と呼びかけた。ムン大統領はこの日、フェイスブックを通じて「無観客の試合だったが、TV中継を介して多くの国民が視聴した」と明らかにした。

ムン大統領は「コロナ19で疲れた国民の皆様が“私たちのそばに戻ってきた野球”で慰められることを願う」とし「我が国のプロ野球開幕に全世界の耳目が集中した」と明らかにした。

続いて「米国と日本では生中継をした」とし「世界が韓国プロ野球の開幕を介してどのように防疫と日常を共存させながらスポーツを楽しむことができるのか注意深く見守り学ぶだろう」と付け加えた。

また「今回の機会にK野球のレベルまで認められるならば、さらに嬉しいこと」とし「プロ野球開幕に続き、5月8日母の日にはプロサッカーも開幕する。観客数を徐々に増やしていき、競技場で直接楽しむ日も遠くない」と述べた。

また、「今日から“社会的距離置き”が“生活の中の距離置き”に変わる」とし「新規感染者数が大幅に減少し、国内感染者数が3日連続0人で、過去一週間のうち5日間一人も出てこなかった」と説明した。最後に、「全世界が驚いたK防疫の成果だ。国民の皆様が防疫に力を合わせてくれた結果」とし「“生活の中の距離置き”期間でもこの傾向が続くように、もう一度力を合わせていただきたい」と述べた。

*出典：<http://www.donga.com/news/article/all/20200506/100924858/2>

04 スポーツワールド 2020. 5. 6

【 体育指導者連盟 - 国際スポーツ戦略委、ボクシング振興院と業務協約締結 】



(社) 韓国体育指導者連盟 (理事長金ジェヒョン) は4日、大韓体育会大会議室で (財) 国際スポーツ戦略委員会 (理事長ユ・スンミン IOC 委員) と (社) 韓国ボクシング振興院 (理事長金ジェヒョン) と韓国スポーツの発展のための業務協約を締結した。

韓国体育指導者連盟と国際スポーツ戦略委員会、韓国ボクシング振興院は、今回の業務協約を通じて三機関が国際的なスポーツネットワーク構築のための交流支援、スポーツ分野の発展および選手関係者の力量強化に関する相互協力など韓国スポーツの発展に寄与する予定である。

金ジェヒョン韓国体育指導者連盟理事長は、「韓国スポーツ分野の発展において国際的なネットワークが必要な中、国際スポーツ戦略委員会と韓国ボクシング振興院の協約を通じて国際的なネットワークの構築が可能となり、韓国スポーツの発展に多くの助けになるだろう。この協約をはじめとして三機関のネットワークと交流を通じて大きく発展できるように努力する」と述べた。

ユ・スンミン国際スポーツ戦略委員会理事長は「韓国体育指導者連盟と韓国ボクシング振興院との業務協約を通じて国内外での韓国スポーツ発展が国際スポーツ戦略委員会との協力を通じて一緒に発展すれば大きな相乗効果となるもので嬉しい。これから韓国がスポーツ強国になるために絶えず努力する」と述べた。

た。

金ジュヨン韓国ボクシング振興院理事長は「韓国体育指導者連盟と国際スポーツ戦略委員会との協定により、選手と選手関係者の力量強化のために協力して、スポーツの発展に一步先に進めるようになったと思う。また、3つの機関が公式パートナーとなることで、互いに良い相乗効果をもたらすと期待される」と述べた。

*出典：<http://www.sportsworldi.com/newsView/20200506516802>

05 【スポーツ界あれこれ】

大韓体育会

コロナ19 拡散で2月から運営が中断していた公共スポーツクラブが5月6日より「社会的距離置き」から「生活の中の距離置き」への政府指針転換に応じて5月から段階的に運営を再開する。公共スポーツクラブ段階運営再開を通じて、これまで外部活動をしていなかった国民が健康を取り戻し、萎縮した地域社会の雰囲気を活気良く転換させることを期待すると明らかに。

NBC SPORTS

米国メディアが、新型コロナ19を乗り越えて8日に開幕する韓国プロサッカーKリーグに注目した。米NBCスポーツは7日（韓国時間）、「2020 シーズン K リーグのすべて」を通じてKリーグを紹介し、韓国がコロナ19 防疫と対処で国際社会の好評価を受けた中でスポーツでも主導的な役割をするか期待している様子。

ソウル大学

体育教育学科の李チュンゲン教授の研究チームは、「ドーパミン受容体遺伝子が青年期から成人期までのスポーツ参加行動に及ぼす影響」論文で、特定の遺伝子が継続的なスポーツへの参加を誘導するという事実を究明した。

米国の研究機関、青少年健康研究（Add Health）で思春期から13年間、遺伝子情報を提供したアメリカ人1万4208人のデータを分析した結果、特定のドーパミン受容体遺伝子（DRD2 A1 allele）がある人が、長期的に運動に参加する傾向があると明らかに。

研究対象者のうち半分に迫る46%がその遺伝子を持っており、A1 遺伝子がある人のうちスポーツを楽しみながら年齢とともにスポーツへの興味が低下した場合は珍しいことを示している。

特にA1 遺伝子を持つ男性がスポーツに持続して参加すると飲酒や薬物、喫煙など他の中毒行動から遠ざかる傾向を見せた一方、女性は継続的なスポーツ参加人口が男性に比べて少なく、中毒行動と有意な相関関係が発見されていない。

INFOMATION

体育市民連帯 ソウル市 瑞草区 瑞草洞 孝寧路 230 スンジョンビル 407 号

체육시민연대 서울시 서초구 서초동 효령로 230 승정빌딩 407 호

Tel : 02-2279-8999、E-mail : sports-cm@hanmail.net

ホームページ：<http://www.sportscm.org/>

日本語訳：佐藤好行 新日本スポーツ連盟 国際活動局 韓国担当 jr1fep@gmail.com